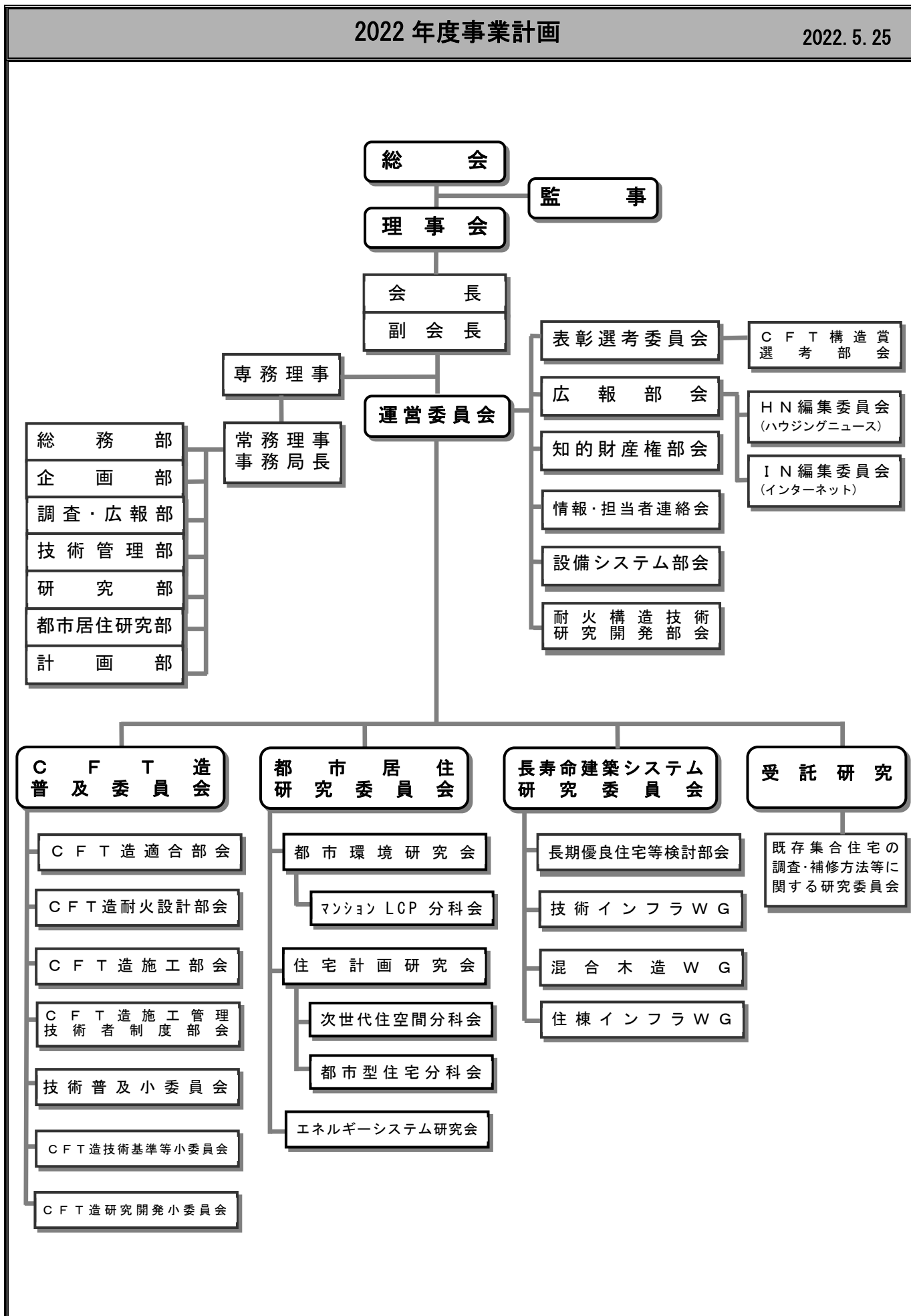


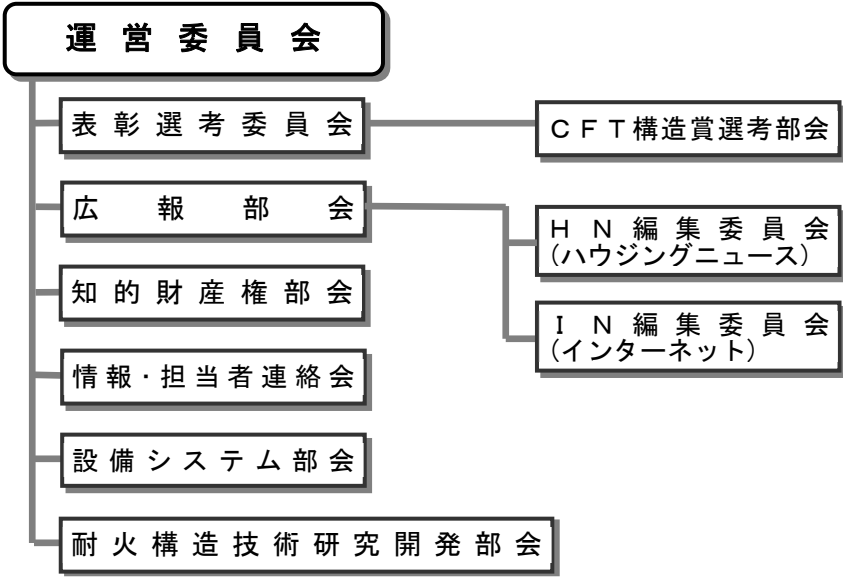
2022 年度事業計画

2022. 5. 25



## 総会・理事会

構	成	総会：正会員 67 社      理事会：理事 24 名、監事 2 名
年度事業計画		<p>1. 第1回理事会：2022年5月25日(水)開催 (Teams併用)</p> <p>(1) 決議事項</p> <p>第1号議案    2021年度事業報告承認の件</p> <p>第2号議案    2021年度貸借対照表及び正味財産増減計算書等の報告の件</p> <p>第3号議案    2022年度事業計画承認の件</p> <p>第4号議案    2022年度収支予算承認の件</p> <p>第5号議案    2022年度表彰者選考承認の件</p> <p>第6号議案    任期満了による役員改選(役員候補者推薦)の件</p> <p>第7号議案    2022年度通常総会招集の件</p> <p>(2) 報告事項</p> <p>第8号議案    職務執行状況報告の件</p> <p>第9号議案    会員退会及び現況報告の件</p> <p>2. 通常総会：2022年6月22日(水)開催予定</p> <p>(1) 決議事項</p> <p>第1号議案    2021年度貸借対照表及び正味財産増減計算書等の承認の件</p> <p>第2号議案    任期満了による役員改選(新役員選任)の件</p> <p>(2) 報告事項</p> <p>第3号議案    2021年度事業報告の件</p> <p>第4号議案    2022年度事業計画の件</p> <p>第5号議案    2022年度収支予算の件</p> <p>第6号議案    会員の現況報告の件</p> <p>3. 第1回臨時理事会：2022年6月22日(水)開催予定 (総会で選任された新役員体制にて実施)</p> <p>決議事項    会長、副会長等選定の件</p> <p>4. 第2回理事会：2022年11月29日(火)開催予定</p> <p>(1) 決議事項</p> <p>第1号議案    2022年度上半期事業報告及び下半期事業計画の件</p> <p>第2号議案    2022年度貸借対照表及び正味財産増減計算書等の報告及び 下半期収支予算の件</p> <p>(2) 報告事項</p> <p>第3号議案    職務執行状況報告の件</p> <p>第4号議案    会員の現況報告の件 等</p> <p>5. 第1回臨時理事会：2023年3月下旬 実施予定 (決議の省略の方法)</p> <p>(1) 提案事項</p> <p>第1号議案    2023年度主要行事予定案承認の件</p> <p>第2号議案    2023年度暫定事業計画案(4-5月)承認の件</p> <p>第3号議案    2023年度暫定収支予算案(4-5月)承認の件</p> <p>第4号議案    決議があったとみなされる日を決定する件 等</p>

運営委員会等	
組 織	 <pre> graph TD     OC[運営委員会] --- CC[表彰選考委員会]     OC --- BC[広報部会]     OC --- KCC[知的財産権部会]     OC --- IC[情報・担当者連絡会]     OC --- ESC[設備システム部会]     OC --- NCC[耐火構造技術研究開発部会]     CC --- CFT[CFT構造賞選考部会]     BC --- HN[HN編集委員会 (ハウジングニュース)]     BC --- IN[IN編集委員会 (インターネット)]   </pre>
<b>運営委員会</b> （樫村委員長：竹中工務店）	
構 成	会長・副会長・理事会社：11社11名 オブザーバー：国土交通省、住宅金融支援機構、都市再生機構
年 度 事 業 計 画	・理事会上程提案事項及びその他共通事項の審議・立案 ・各種委員会等の検討・審議結果並びに総務・人事・財務状況について把握・検討・承認
委 員 会 開 催	月例開催(原則毎月第1水曜日)： 4/6, 5/11 (予定)6/1, 7/6, 8/3, 9/14, 10/5, 11/2, 12/7, 1/11, 2/1, 3/1
実 施 内 容	2022年度に実施する主な開催回のみ列記 1. 第1回運営委員会：2022年4月6(水)開催 (1) 委員の交代について (2) 事務局新体制について (3) 前回議事録の確認 (4) 2021年度第1回臨時理事会開催報告 (5) 広報部会関連(3月度)活動報告 (6) 耐火構造技術研究開発部会(3月度)活動報告 (7) CFT造普及委員会関連(3月度)活動報告 (8) 都市居住研究委員会関連(3月度)活動報告 (9) 長寿命建築システム研究委員会関連(3月度)活動報告 (10) オブザーバーからの情報提供・ご意見等  2. 第2回運営委員会：2022年5月11日(水)開催 (1) 前回議事録の確認 (2) 広報部会関連(4月度)活動報告 (3) 耐火構造技術研究開発部会(4月度)活動報告 (4) CFT造普及委員会関連(4月度)活動報告 (5) 都市居住研究委員会関連(4月度)活動報告 (6) 長寿命建築システム研究委員会関連(4月度)活動報告 (7) 2022年度第1回理事会を開催する件

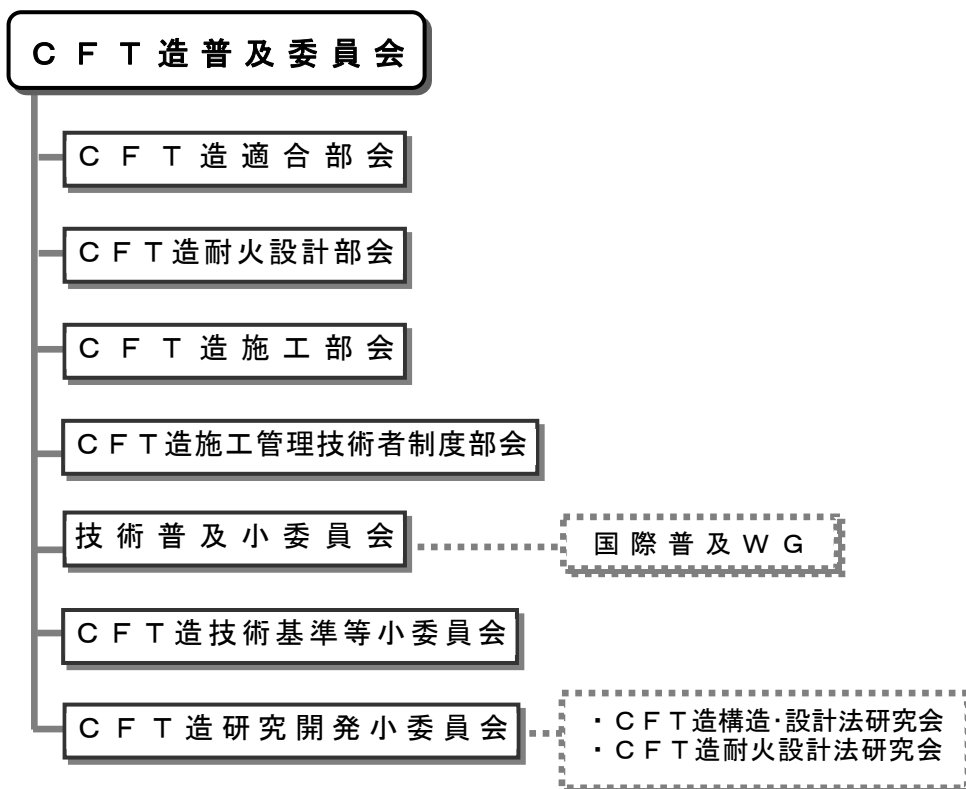
	<p>1) 開催のご案内及び議事次第(案)の件 2) 議案書綴りのご説明</p> <p>3. 第8回運営委員会：2022年11月2日(水)開催予定 (1) 前回議事録の確認 (2) 各委員会(10月度)活動報告 (3) 2022年度第2回理事会開催の件 1) 開催のご案内及び議事次第(案)の件 2) 議案書綴りのご説明 他</p> <p>4. 第12回運営委員会：2023年3月1日(水)開催予定 (1) 前回議事録の確認 (2) 各委員会(2月度)活動報告 (3) 2022年度第2回臨時理事会実施の件 1) 提案書(案)の件 2) 提案書別添資料のご説明 他</p>
<b>表彰選考委員会</b> (櫻村委員長：竹中工務店)	
構成	正会員：4社(4名)
年度事業計画	2022年度CFT構造賞、功績賞、功労賞受賞者の選考
委員会開催	年1回開催：2022年5月9日(月)開催
<b>CFT構造賞選考部会</b> (上田部会長：竹中工務店)	
構成	正会員：5社(5名)
年度事業計画	2022年度CFT構造賞候補を選出し、表彰選考委員会に推薦
部会開催	年1回開催：2022年4月26日(火)開催
<b>広報部会</b> (野崎部会長：東京ガス)	
構成	正会員：10社(10名)、オブザーバー：1名
年度事業計画	2022年度広報活動全般の企画、実施の確認と承認 ・ 広報部会の開催 ・ アーバン・ハウジング・フォーラムの開催 ・ 調査研究発表会の開催 ・ ハウジングニュース編集委員会の活動の確認と承認 ・ インターネット編集委員会の活動と承認 ・ その他 関連団体活動への対応等
部会開催	年2回開催：4/18 (予定)10/24
実施内容	<p>1. 広報部会 (1) 第1回広報部会：2022年4月18日(月)開催 1) 新都市ハウジングニュース状況報告と討議 2) 協会ホームページの運営・刷新状況の確認 3) アーバン・ハウジング・フォーラムの開催計画の報告 4) 調査研究発表会開催の討議</p> <p>2. アーバン・ハウジング・フォーラム：(年4～5回開催) コロナ感染症対策のため、Web開催も含めて検討</p>

	<p>3. 調査研究発表会（年1回開催）：2022年7月11日（月）開催予定 会 場：（株）竹中工務店 A・Bホール 時 間：13:30～17:30 ※コロナ禍で制約がある中での開催のため、開催形式・プログラム等について再度検討を行っている。</p> <p>4. ハウジングニュース編集委員会、インターネット編集委員会については、該当委員会の欄を参照。</p> <p>5. その他 関連団体活動への対応 （一社）住宅生産団体連合会 広報連絡会への参加予定</p>
<b>ハウジングニュース編集委員会</b> （荒城委員長：鹿島建設）	
構 成	正会員：9社（9名）
年度事業計画	・新都市ハウジングニュースの企画・編集・発行（年4回発行）
委員会開催	月例開催：4/18
実施内容	<p>1. 新都市ハウジングニュースの企画・編集・発行</p> <p>(1) Vol. 104 春号（6月初旬発行予定） テーマ：「スマートシティのまちづくり」 巻頭論文：「スマートシティにおけるモビリティデザイン」 中村 文彦 東京大学 新領域創成科学研究科 特任教授</p> <p>(2) Vol. 105 夏号（9月初旬発行予定） テーマ：「自動化技術の最前線」または 「大地震に備える（レジリエントシティ）」にて検討中</p> <p>(3) Vol. 106 秋号の企画・編集（12月初旬発行予定） テーマ：（仮）「2022年度調査研究発表会・報告」</p> <p>(4) Vol. 107 冬号の企画・編集（2023年3月初旬発行予定） テーマを検討中。</p>
<b>インターネット編集委員会</b> （猪里委員長：大成建設）	
構 成	正会員：3社（4名）
年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページの運営・情報更新</li> <li>・ホームページの改良検討（表紙の写真等更新、コンテンツの収集・整理他）</li> <li>・メールマガジンの配信（原則年月4回）、運営方法の検討</li> </ul>
委員会開催	年3回程度開催：（予定）6月、12月、3月
実施内容	<p>1. ホームページの改良検討（表紙の写真等更新、コンテンツの収集・整理他）</p> <p>2. ホームページ閲覧促進のためページ構成改良の検討 等</p>
<b>知的財産権部会</b> （山川部会長：清水建設）	
構 成	正会員：8社（8名）
年度事業計画	知的財産に関する各種ガイドラインの研究
部 会 開 催	年4回程度開催：（予定）6月上旬、9月、12月、2月
実施内容	<p>引き続き「知的財産に関する各種ガイドラインの研究」をテーマとして議論と情報交換を行い、メンバー間のレベルアップを図っていく。</p> <p>なお、期中に同テーマが終了した場合、新テーマを選定する。</p>

情報・担当者連絡会	
構成	正会員:67社(67名)
年度事業計画	会員への理事会議案等の説明及び協会活動についての意見交換他
連絡会開催	年2回実施:5/20(予定)11月中旬頃
実施内容	<p>1. 第1回情報・担当者連絡会:2022年5月20日(金)開催</p> <p>※昨年同様、新型コロナ感染拡大防止の観点から、出席方法を協会会議室への来場からWeb会議システム(Teams)利用による参加限定に変更して開催。</p> <p>(1) 2022年度第1回理事会及び通常総会開催について</p> <p>1) 2022年度主要行事予定</p> <p>2) 2022年度第1回理事会議事次第</p> <p>3) 理事会議案書綴りのご説明 他</p> <p>(2) 質疑応答</p> <p>(3) 会員のみなさまからの協会に対するご意見ご要望等</p> <p>2. 第2回情報・担当者連絡会:2022年11月中旬 資料送付予定</p> <p>(1) 2022年度第2回理事会開催の件(上程議案について)</p> <p>1) 2022年度第2回理事会議事次第</p> <p>2) 理事会議案書綴り 他</p>
設備システム部会(田中部会長:大阪ガス)	
構成	正会員:6社(6名) オブザーバー:1名
年度事業計画	<p>・良好な都市居住環境に資する、建築設備・施設・内外装等に関する見学会を企画する。</p> <p>・協会活動の一端として、見学内容に関連する委員会等への案内を行い、得られた情報を委員会活動に生かす。</p>
実施内容	<p>1. 第1回部会</p> <p>(1) 前年度の活動実績を確認</p> <p>(2) 2022年度活動方針等について討議</p> <p>(3) 施設見学先の選定</p> <p>2. 第2回~4回部会は、施設見学会を軸として活動し、情報収集・発信を行う。</p>
部会開催	原則年4回 第1回:5/26(予定)以降、見学先との調整により開催時期決定
耐火構造技術研究開発部会(宮本部会長:鹿島建設)	
構成	正会員:15社(21名)
年度事業計画	<p>今年度よりコンソーシアムを立ち上げ、活動期間を3年間とする。合成耐火被覆鉄骨造(柱・梁)の耐火構造技術の研究開発を行う。</p> <p>1. 令和4年度の活動計画を立案する。</p> <p>2. 加熱予備試験を実施し、性能評価試験の仕様を決定する。</p> <p>3. 順次、性能評価試験を受け、耐火構造の大臣認定を目指す。</p>
部会開催	月例開催:4/7,5/12,(予定)6/2,7/7,8/4,9/1,10/6,11/10,12/1,1/5,2/2,3/2

## CFT造普及委員会等

組 識



## CFT造普及委員会（中尾委員長：日本設計）

構 成

正会員:7社(8名)

年 度 事 業 計 画

CFT造の普及・技術指導・研究開発事業の展開を図る。

## 1. CFT造の普及事業

- (1) 施工技術習得指導の実施（技術普及小委員会）
- (2) 施工管理技術者認定試験及び更新講習の実施  
（CFT造施工部会、CFT造施工管理技術者制度部会）
- (3) 施工管理技術者制度及び施工技術ランク制度のフォロー  
（CFT造施工部会、技術普及小委員会）
- (4) 技術基準・技術指針等の改訂・刊行  
（技術基準等小委員会、CFT造施工部会、CFT造耐火設計部会）
- (5) 設計・施工技術者への参考資料の提供  
（技術基準等小委員会、CFT造施工部会、CFT造耐火設計部会）
- (6) CFT造建物の普及状況の調査（CFT造建物実績調査アンケートの実施）
- (7) CFT造に係る制度の整備・改善の検討（技術普及小委員）
- (8) 行政、確認機関等との連携の検討
- (9) CFT造技術の海外展開の検討（技術普及小委員 国際普及WG）

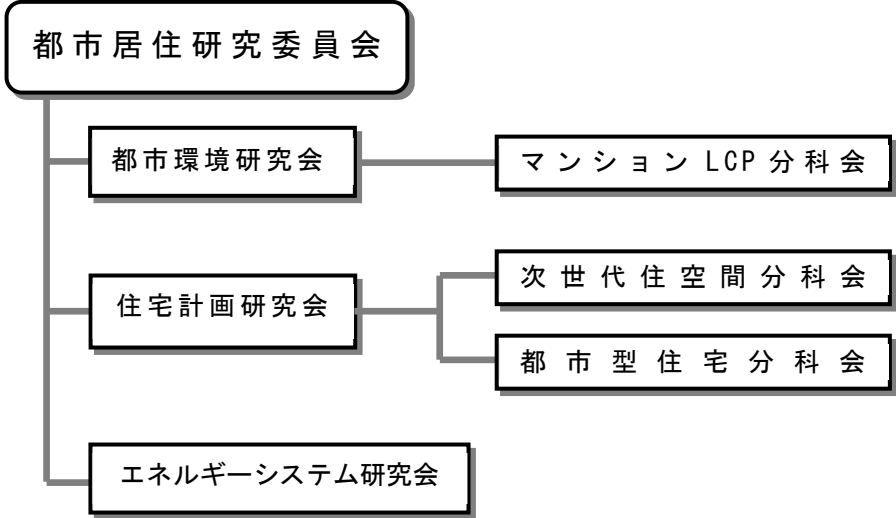
## 2. CFT造の技術指導事業

- (1) 指針適合の技術指導（CFT造適合部会）
- (2) 施工計画の技術指導（CFT造施工部会）
- (3) 耐火設計の技術指導（CFT造耐火設計部会）

	<p>3. CFT 造関連の研究開発事業（CFT 造研究開発小委員会）</p> <p>(1) 必要な開発課題の抽出</p> <p>(2) 研究会を適宜編成して柔軟に研究開発を推進</p> <p>(3) 研究開発成果の事業への反映</p>
委員会開催	月例開催：4/13, 5/18, 6/8, 7/13, 8/10, 9/21, 10/12, 11/9, 12/14, 1/18, 2/8, 3/8
<b>CFT造適合部会</b> （浅岡部会長：鹿島建設）	
構成	正会員3社(4名)
年度事業計画	CFT造技術指針に基づき設計されたCFT造柱及び関連部位について技術指導を行う。 申請建物の指針適合技術指導の実施、普及委員会への報告
部会開催	適宜開催：
<b>CFT造耐火設計部会</b> （丹羽部会長：大林組）	
構成	正会員：12社(13名)、オブザーバー：1名
年度事業計画	CFT造耐火設計指針に基づき設計されたCFT造柱及び関連部位について技術指導を行う。また、CFT造耐火設計関連技術資料を継続的に整備する。 1. 申請建物の耐火設計に関する技術指導、普及委員会への報告 2. CFT造耐火設計指針のフォロー・整備 3. 普及のための技術資料の整備
部会開催	適宜開催：
<b>CFT造施工部会</b> （梶山部会長：鴻池組）	
構成	正会員：11社(11名)、オブザーバー（正会員：2社2名）
年度事業計画	CFT造技術指針に基づき作成された施工計画書について技術指導及びCFT造施工管理技術者への技術講習を行う。また、CFT造施工関連の制度のフォロー・整備及び技術資料の整備を継続的に実施する。 1. 申請建物の施工計画に関する技術指導、普及委員会への報告 2. 施工管理技術者制度・施工ランク制度のフォロー・整備 3. 講習会の開催 (1) 施工管理技術者更新（自己学習での更新を予定） (2) 施工管理技術者認定試験における講習（10月予定） 4. CFT造技術指針等のフォロー・整備・改訂 5. 普及のための技術資料の整備
部会開催	月2回開催(原則第2月曜及び最終水曜)： 4/11, 4/27, 5/13, 5/31, 6/13, 6/30, 7/12, 7/27, 8/24, 9/12, 9/28, 10/11, 10/26, 11/14, 11/30, 12/12, 1/10, 1/25, 2/13, 2/22, 3/13, 3/29
<b>CFT造施工管理技術者制度部会</b> （井上部会長：竹中工務店）	
構成	正会員：7社(7名)
年度事業計画	CFT造施工管理技術者認定試験を実施する。 1. 資格登録のための認定試験の実施 (1) 認定試験の準備及び試験問題の作成 (2) 認定試験の実施(10月予定) (3) 答案の採点・合格点・合格者数を決定し、普及委員会へ報告

部 会 開 催	適宜開催（年間 10 回程度予定）：3/25, 5/10
<b>技術普及小委員会</b> （神代委員長：大林組）	
構 成	〔習得指導〕 正会員：3 社(3 名)、個人会員：1 名 〔国際普及 WG（香田主査：清水建設）〕 正会員：8 社(9 名)
年 度 事 業 計 画	中堅建設業者に対する施工技術習得指導及び CFT 造技術の海外展開を検討する。 1. 未経験企業等に対する CFT 造施工技術の習得指導 2. 技術ランクに応じた CFT 造施工技術の習得指導 3. 国際普及のための準備及び活動(国際普及 WG) ・ ISO 規準への対応
委 員 会 開 催	適宜開催：
<b>CFT 造技術基準等小委員会</b> （出雲委員長：大成建設）	
構 成	正会員：7 社(11 名)、個人会員：1 名、協力委員：1 名
年 度 事 業 計 画	CFT 造関連技術資料を継続的に整備する。 1. CFT 造技術基準・技術指針等の運用・整備・改訂(年度末に改訂版発行を予定) 2. 普及のための技術資料の整備
委 員 会 開 催	適宜開催：
<b>CFT 造研究開発小委員会</b> （福元委員長：鹿島建設）	
構 成	小委員会 正会員:5 社(5 名) 〔CFT 造構造・設計法研究会〕（中村主査:大成建設） 16 社(18 名),オブザーバー 1 名 〔CFT 造耐火設計法研究会〕（西村主査:竹中工務店)14 社(15 名),オブザーバー 4 名
年 度 事 業 計 画	CFT 造に係わる研究開発を実施し、技術指針等への展開を図る。 1. CFT 造に係わる研究開発課題の抽出 2. CFT 造に係わる研究開発の推進 3. 研究開発成果の活用
委 員 会 開 催	年 3 回開催、研究会は適宜開催：

## 都市居住研究委員会等

組 織	 <pre> graph TD     A[都市居住研究委員会] --- B[都市環境研究会]     A --- C[住宅計画研究会]     A --- D[エネルギーシステム研究会]     B --- E[マンションLCP分科会]     C --- F[次世代住空間分科会]     C --- G[都市型住宅分科会] </pre>
<b>都市居住研究委員会（篠崎委員長：竹中工務店）</b>	
構 成	正会員：8社(8名)
年度事業計画	環境にやさしく安全で魅力的な都市型集合住宅の実現に資する調査研究を通して、21世紀における良好な都市居住環境の形成を促進する。
実 施 内 容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 第1回委員会：2022年4月21日(木) 開催 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 各研究会・分科会の2021年度事業報告と2022年度事業計画の審議</li> <li>(2) 次の新規テーマの検討</li> <li>(3) 調査研究成果の普及・PRに関する検討</li> <li>(4) 協会関連活動の報告</li> </ol> </li> <li>2. 第2回委員会：2022年7月21日(木) 開催予定 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 各研究会・分科会の第1四半期の活動状況と今後の活動計画の審議</li> <li>(2) 新たな都市居住環境に関する情報及び意見交換</li> <li>(3) 協会関連活動の報告</li> </ol> </li> <li>3. 第3回委員会：2022年10月20日(木) 開催予定 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 各研究会・分科会の上半期事業報告と下半期事業計画の審議</li> <li>(2) 新たな都市居住環境に関する情報及び意見交換</li> <li>(3) 協会関連活動の報告</li> </ol> </li> <li>4. 第4回委員会：2023年1月19日(木) 開催予定 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 各研究会・分科会の第3四半期の活動状況と今後の活動計画の審議</li> <li>(2) 2023年度 功績賞・功労賞への候補者推薦に関する協議</li> <li>(3) 協会関連活動の報告</li> </ol> </li> </ol>
委 員 会 開 催	年4回開催：4/21, 7/21, 10/20, 1/19

都市環境研究会	
	<b>マンションLCP分科会</b> （村田主査：清水建設）
構成	正会員：6社(7名)、協力委員：5名
年度事業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>社会動向を含むマンションLCPに関する実態等の調査研究 <ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍での公的避難所の変化とそれに伴うマンションLCPの意義の再検討</li> <li>自治体におけるLCPに関する想定や方針、施策等の調査</li> <li>LCPマンションの先進的な事例等の調査</li> <li>2020・2021年度に検討したLCPガイドラインの見直し・補足等の検討</li> </ul> </li> <li>生活継続力評価Webシステム「LCP50+50」の普及・PR <ul style="list-style-type: none"> <li>webシステムの内容チェック・記事更新</li> </ul> </li> </ol>
分科会開催	適宜(年6回程度)開催：(予定)5/27
住宅計画研究会	
	<b>次世代住空間分科会</b> （小野澤主査：三井住友建設）
構成	正会員：8社(9名)
年度事業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>次世代の集合住宅のモデルとなる先進事例の調査研究（視察、文献調査等） <ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍の下での住宅のあり方や変化</li> <li>CLT等の木造木質化、コミュニティの活性化、スマートシティ、等の動向</li> </ul> </li> <li>調査報告書の協会ホームページでの公開等を通じた情報共有</li> </ol>
分科会開催	適宜(月1回程度)開催：4, 5/16, (予定)6/6, 7/4, 8/1, 9/5, 10/3, 11/7, 12/5, 1/16, 2/6, 3/6
	<b>都市型住宅分科会</b> （森本主査：日本設計）
構成	正会員：11社(11名)
年度事業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>テーマ「超高層住宅を看取る」として、超高層住宅の寿命、それに関わる価値の維持の面から見た成功例と失敗例についての調査・研究</li> <li>超高層住宅の建物価値や特性を多角的に評価する「超高層集合住宅・総合評価システム」の改良に関する報告書のまとめ</li> <li>超高層住宅総合調査第2版の作成に関する検討</li> </ol>
分科会開催	適宜(月1回程度)開催：4/14, 5/12, (予定)6/9, 7/14, 8/25, 9/15, 10/13, 11/10, 12/8, 1/12, 2/9, 3/9
エネルギーシステム研究会（二宮主査：東京ガス）	
構成	正会員：13社(13名)
年度事業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>住宅分野におけるIoT要素を含めた新技術、レジリエンス対策等の最新動向に関する調査・研究</li> <li>新しい省エネ住宅や今後標準化されるZEHに関わる建築、設備及びエネルギーシステム等についての調査・研究（視察、文献調査等）</li> </ol>
研究会開催	適宜(年6回程度)開催：

長寿命建築システム研究委員会等	
組 織	<pre> graph TD     A[長寿命建築システム研究委員会] --- B[長期優良住宅等検討部会]     A --- C[技術インフラWG]     A --- D[混合木造WG]     A --- E[住棟インフラWG] </pre>
<b>長寿命建築システム研究委員会</b> （櫻村委員長：竹中工務店）	
構 成	正会員：7社(8名)、個人会員：2名
年度事業計画	当協会のこれまでの研究成果を活用し、「建築の長寿命化」という観点で、長期優良住宅等の長寿命建築に関わる技術基盤整備と普及促進に向けた新たなタスクフォース研究を設定して取り組む。
実施内容	<p>第1回委員会：2022年6月23日（木）開催予定</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>部会・各WGの2022年度事業計画の審議</li> <li>当委員会関連活動の普及推進に関する検討</li> <li>協会関連活動の報告</li> </ol> <p>第2回委員会：2023年3月24日（金）開催予定</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>部会・各WGの2022年度事業報告と2023年度事業計画の確認・検討</li> <li>次年度以降の部会・各WGの活動における提案</li> <li>協会関連活動の報告</li> </ol>
委員会開催	年2回開催：(予定)6/23, 3/24
<b>長期優良住宅等検討部会</b> （吉田部会長：長谷エコーポレーション）	
構 成	<p>正会員：21社(21名)、協力委員：1名、オブザーバー：3名</p> <p>協力委員：国土技術政策総合研究所</p> <p>オブザーバー：国土交通省、都市再生機構、住宅金融支援機構</p>
年度事業計画	<p>「長期優良住宅」等の関連施策に対応し、協会としてこれまで蓄積した建築・住宅の長寿命化に関する技術・知見を活用し、長寿命集合住宅の普及促進と進化向上を目的とする調査研究を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>国土交通省依頼による住宅関連施策動向の調査</li> <li>長期優良住宅の認定要件・技術基準の見直しへの対応</li> <li>長期優良住宅認定制度採用マンションの事例調査・分析</li> </ol>
部会開催	年4回開催予定：

<b>技術インフラWG</b> (山崎主査：個人会員-国際建設技術情報研究所)	
構 成	正会員：8社(8名)、個人会員：1名、オブザーバー：1名
年度事業計画	<p>住宅・建築エリアにおいて地域特性に応じた再生可能エネルギーの利用拡大を図る計画・評価方法を確立することを目的とした活動を行う。(公募事業に適宜応募)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域特性に応じた再生可能エネルギーの利用拡大を図るための課題整理</li> <li>2. 再生可能エネルギーの製造・搬送・蓄積・利用に係る関連技術・事例の調査</li> <li>3. 住宅・建築エリアイノベーションモデルにもとづく地域特性・規模に対応した再生可能エネルギーの効果的な利用システムの計画方法及び評価方法の検討</li> <li>4. 地域特性に応じた再生可能エネルギーの利用拡大に有効な計画・評価手法のとりまとめ・提案</li> </ol>
WG開催	適宜開催：
<b>混合木造WG</b> (太田主査：竹中工務店)	
構 成	正会員：8社(10名)、協力委員：2名(大学)、オブザーバー：3名
年度事業計画	<p>耐震壁をはじめとする木質耐震要素をRC造やS造フレームに適用した場合を想定し、実用化に向けた設計手法の開発、設計例などを整備する。3年目となる本年度は、開発対象をS架構からRC架構へ替え、「RC架構+CLT耐震壁の混合構造」の技術開発を行う。構造実験を実施し設計手法を取りまとめる。(採択事業)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. RC架構+CLT耐震壁の混合構造の構造性能評価 <ul style="list-style-type: none"> <li>・RC架構+CLT耐震壁の構造実験</li> <li>・鋼板挿入ドリフトピン接合部の簡易試験</li> </ul> </li> <li>2. RC架構+CLT耐震壁の設計・施工合理化の検討</li> <li>3. 設計指針(ガイドライン)の作成及び公開</li> </ol>
WG開催	適宜開催：
<b>住棟インフラWG</b> (安達主査：個人会員-(株)アルケー級建築士事務所)	
構 成	正会員：6社(7名)、個人会員：1名、協力委員：1名、オブザーバー：3名
年度事業計画	<p>マンションストック長寿命化等モデル事業(国土交通省)に応募し、支援決定した具体マンションの長寿命化に向けて下記の計画策定事業を実施する。(採択事業)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 既存集合住宅の機械式駐車設備改修に対応した、蓄電池とエネマネを利用した防災用電源の確保を提案。</li> <li>2. 機械式駐車設備・電気自動車急速充電器の設置により上がる電力基本料金の低減を目的とした、ピークシフトシステムの検討・提案。</li> <li>3. 事業推進により、管理組合及び居住者のマンション長寿命化事業計画の立案を支援。</li> </ol>
WG開催	適宜開催：

受託研究	
組 識	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <b>既存集合住宅の調査・補修方法等に関する研究委員会</b> </div>
<b>既存集合住宅の調査・補修事例に関する研究委員会（佐藤委員長：竹中工務店）</b>	
構 成	1. 正 会 員：8社(8名)
年 度 事 業 計 画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公益財団法人住宅リフォーム・紛争処理支援センターの入札募集要項に応じて対応する</li> <li>・委員会については、事業内容から必要に応じて再編する。</li> </ul>
委 員 会	研 究 委 員 会：必要に応じて開催。 補修事例作成WG：(随時)委員の編成も踏まえ、必要に応じて開催。